

授業概要

古代メソポタミア地方、インダス川流域におこった文明が、どのように東西に伝播していくのか。交易路の形成、民族の移動にともない、東西の文物、文化が融合していく歴史を講義する。さらに近代に入り、西欧からもたらされたナショナリズムという概念によって、アジアの大帝国が崩壊していく過程について講義する。

授業計画

第 1 回	文明の形成 メソポタミア、エラム、インダス文明
第 2 回	交易路の形成①オアシスの道、草原の道
第 3 回	交易路の形成②南海路
第 4 回	「宗教」の成立
第 5 回	イスラームのひろがり
第 6 回	「宗教」伝播と変容
第 7 回	テュルク系三帝国の繁栄
第 8 回	東洋の衝撃
第 9 回	大伝道時代
第 10 回	アジアの富
第 11 回	貿易の構造変化
第 12 回	力関係の転換
第 13 回	ヨーロッパの病人
第 14 回	「西方問題」
第 15 回	まとめ
第 16 回	筆記試験

到達目標

南アジア・南西アジアの歴史的背景を知ることにより、この地域がかかえる問題の根源、また文化的特徴を理解する。この地域のみならず、全人類史における連関を理解し、自分なりの考えをまとめる。

履修上の注意

アフリカ大陸に関しては、とくにイスラームの伝播との関わりで扱う。

予習・復習

シラバスに従って基本的な知識を予習する。講義後は、配布されたプリントと参考文献などを読んで知識を深めておくこと。

評価方法

授業中の態度、授業後に回収するリアクシヨペーパーの内容が 50%、学期末の筆記試験 50%として総合的に評価する。

テキスト

テキストは使用しない。授業中にプリントを配布する。参考文献は適宜紹介する。